

国語科小中一貫教科カリキュラム

国語科における「変革を起こす力」を発揮した子どもの姿

初等部 4年生の子どもの姿	中等部 7年生の子どもの姿	高等部 9年生の子どもの姿
言語活動を通して、文字や文章、会話などの言葉の働きやよさをとらえ、筋道を立てて考える力を身につける。そして、自分の立場や考えを明確にしながら、自分の思いや考えを表現しようとする子ども	言語活動を通して、言葉がもつ価値を意識し、筋道を立てて考えたり豊かに想像したりする力を身につける。そして、仲間の思いや考え、情報を適切に受け取ったり、自分の思いや考えを正しく相手に伝わるように表現したりする子ども	言語活動を通して、言葉がもつ価値を認識し、論理的に考えたり豊かに想像したりする力を身に付ける。そして、仲間の思いや考え、情報を適切に受け取ったり、自分の思いや考えを豊かに表現したりする子ども

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	6年	7年	7・8年	9年			
読むこと (説明的文章)	1年 くらべてよもう それぞれの違いを知るには、どのように読むとよいだろうか ※くちばし ※うみのかくれんぼ ※じどう車くらべ ※どうぶつの赤ちゃん	2年 だいじなことばに気をつけて読み、分かったことを知らせよう 説明する文章の内容をつかんだり読んだ考えをもったりするには、どのようなことに気をつけて読むとよいだろうか ※たんぼのちえ ※どうぶつ園のじゅうい ※馬のおもちゃの作り方	3年 段落とその中心をとらえて読み、かんそうをつたえ合おう 話題と例の書かれ方をとらえたり感想を伝え合ったりするには、どのように読むとよいだろうか ※こまを楽しむ ※すがたをかえる大豆 ※ありの行列	4年 筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう 筆者の考えをつかんだり、内容を要約したりするには、どのように読むとよいだろうか ※アップとルーズで伝える ※世界にはほころ和紙 ※ウナギのなぞを追って	5年 分かりやすく表現しよう 自分にも相手にも分かりやすい表現とはどのようなもので、それを効果的に用いて相手に伝えるにはどのようにすればよいだろうか ※言葉の意味が分かること ※固有種が教えてくれること ※想像力のスイッチを入れよう	6年 多様な考えを生み出す言葉 自分の考えを相手に正しく伝えたり、お互いの考えをさらに深めたりしていくには、どのような言葉の表現やコミュニケーションをしていけばよいだろうか ※時計の時間と心の時間 ※『鳥獣戯画』を読む ※メディアと人間社会	6年 12歳の今を語る 順序立てた言葉や豊かな言葉を用いて、自分の思いを発信し、仲間の思いを受け取ることで得られる価値とは、どのようなものだろうか	7年 日本語の魅力を探ろう 新たに探っていく言葉の世界に触れることで見えてくる、言葉のよさとは	7・8年 筋道を立てて自分の考えを論じよう 筋道を立てて自分の考えを論じたり、その考えを正しく受け止めたりすることが、私たちの生活にもたらす影響とは	9年 言葉の力 国語(言葉)に関する認識を深め、ものの見方・考え方・感じ方を高めることによってたどり着く、言葉の魅力とは			
	書くこと	1年 くわしくかこう 見つけたことや思い出したことなどを分かりやすく伝えるには、どのように書くとよいだろうか	2年 読む人に分かりやすい文章を書こう 伝えたいことを読む人に伝わるようにするには、どのように書くとよいだろうか	3年 組み立てを考えて書こう 組み立てを考えて、分かりやすく伝えるには、どのように書くとよいだろうか	4年 調べたことや考えたことを書き、読み合おう 何かのよさや自分の考えを伝えるときは、どんな理由や例を挙げ、どのように書くとよいだろうか							9年 思いをつづる 様々な随筆を読んだり、自分なりに随筆を書いたりすることによって見いだせる自分の思いについて表現することの意義とは	
		読むこと (文学的文章)	1年 おもいうかべながらよもう 場面の様子や登場人物の行動をとらえるには、どのように読むとよいだろうか ※おおきなかぶ ※やくそく ※くじらぐも ※おかゆのおなべ ※たぬきの糸車 ※ずうっと、ずっと、大すきだよ	2年 そうぞうを広げて読もう 登場人物の行動を具体的に想像するには、どのように読むとよいだろうか ※ふきのとう ※スイミー ※お手紙 ※わたしはおねえさん ※スーホの白い馬	3年 登場人物の気持ちを想像しながら読もう 登場人物の気持ちや性格をとらえたりするには、どのように読むとよいだろうか ※きつつきの商売 ※まいごのかぎ ※ちいちゃんのかげおくり ※三年とうげ ※モチモチの木	4年 登場人物の気持ちの変化を読もう 登場人物の気持ちの変化と出来事の関係をとらえるには、どのように読むとよいだろうか ※白いぼうし ※一つの花 ※ごんぎつね ※プラタナスの木	5年 文学の世界に浸ろう よさや面白さが味わえ、読者が文学の世界に深く入り込める作品で使われている言葉の働きとはどのようなものだろうか ※なまえつけてよ ※たずねびと ※大造じいさんとガン	6年 作品世界と私をつなげよう 読者が文学的作品によって自分のものの見方や考え方を広げていくためには、どのような読みをすればよいだろうか ※帰り道 ※やまなし ※海の命	7年 物語の世界・小説の世界 優れた物語・小説を読み味わって、自分の感性が磨かれ、自分のものの見方や考え方が広がることによって見えてくる文学作品の価値や魅力とは		8年 詩の世界 詩に込められた作者の心情や表現をとらえ、作品の魅力に迫ることで感じられる詩で表現する意義や価値とは	8年 短歌俳句の魅力を探る いにしえより読み継がれる短歌・俳句の魅力を探ることで見いだすことのできる日本人が言葉にもつこだわりとは	
話すこと・聞くこと			1年 きいてしらせよう 相手の発言を受けて話をつなぐためには、どのように話したり聞いたりするとよいだろうか	2年 つたえたいことをきめてはつびょうしよう 考えを出し合い、話し合うにはどのように話したり聞いたりするとよいだろうか	3年 つたえたいことを、理由をあげて話そう 伝えたいこととその理由をよりよく伝えるにはどのように話したらよいだろうか。また、質問をするためには、どのような聞き方をしたらよいだろうか	4年 役わりをいしきしながら話し合おう 多くの人が納得できる結論が出るようにするには、どのように話し合うとよいだろうか	5・6年 選び抜かれた言葉を味わおう 詩や短歌や俳句を味わったり、創作活動を楽しんだりするための秘訣とは何だろうか						8・9年 説得する言葉・納得する言葉 説得力があり、聞き手の同意や納得が得られる話の構成や展開、表現の仕方や話し方でコミュニケーションすることの意義や価値とは